

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	兵庫県立 氷上高等学校 職・氏名 教諭 生嶋 英明	研究チーム名 ( 食品加工科ネットワークチーム )
-----------------	------------------------------	------------------------------

研究テーマ分類番号 ( 14 )

(1)研究テーマ
オンライン化は教職員業務の効率化に貢献できるか
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>5月 実習棟内でのネットワークの構築とサーバーの設置  場所：実習棟  方法：サーバーの設置。各パソコンをLANケーブルでつなぐ。  成果：共有フォルダを利用できるようになり、情報交換の手間を省くことができた。</p> <p>6月 メールによる情報共有の開始  場所：職員室・実習棟  方法：メールを利用したの情報交換  成果：メール受信の際、ディスプレイにメール受信が知らされるため、すぐに情報を共有でき、会議時間変更等の連絡が一斉にできるようになった。</p> <p>7月 試験問題のデータベース構築  場所：職員室・実習棟  方法：学科が担当する科目の定期考査の管理場所を一元化する。  成果：学科内の教員同士が定期考査の内容をチェックすることができるようになった。また、科目間の授業の進度や内容を把握することができ、定期考査以降の授業に科目を横断して関連性のある授業が展開できるようになった。</p> <p>8月 生徒の進路情報を共有化  場所：実習棟  方法：3年生の進路希望等を把握する。  成果：学科の生徒の進路情報を共有化することで、夏季休業中の進学のための補習や2学期からの面接指導等に学科の教員全体で取り組むことができた。</p> <p>9月 グループウェアによる業務の透明化  場所：職員室・実習棟  方法：グループウェアを導入し、各教員の動向を把握する。  成果：会議等で決定した予定や、時間外当番実習の予定、各教員の年休・出張の予定等を教員間で共有することができ、先を見通した学科経営が可能になった。</p>